

個性発信  
話題の商品

EGNIS 新報国マテリアル

焼却炉向け  
耐腐食合金



新報国マテリアルの耐塩素・耐腐食合金「EGNIS」(イグニス)シリーズが評価を高めている。焼却炉用部品としての実機試験で一般的な耐熱鋼(SCH鋼)と比べ、4倍以上の長寿命化を表現。部品交換の削減による発電効率の向上や鉄資源の節約に寄与する。現在10数施設で試験が進行中で、産業廃棄物処理業者などに採用を働きかける。EGNISは600～1000度Cの高温で塩素ガスや溶融塩が発生する過酷な環境下で、優れた耐腐食性を発揮する合金。長年の合金開発技術を生かした材料を配合した。中でも焼却炉用部品のストーカー(火格子)向けに铸造品を製作し、2020年から実機でテストを開始していた。近年、サーマルリサイクルが活発化する中、廃棄物中のプラスチックの割合が増加し、塩素による腐食で火格子が早期に摩耗する課題があった。研究開発部の稲毛基夫主任は「部品交換の手間と時間を大幅に削減できる」と意義を強調する。